

# 令和5年度 文京区立林町小学校 授業改善推進プラン

## 音楽

	指導上の課題の分析	授業改善の具体的方策	評価（成果と課題）
1年	○音楽への意欲が高いが、音を出す時、話を聞く時の切り替えがすぐにできない。	○指示出しは口頭だけではなく、絵付きパネルやパワーポイント等の視覚でも認識できる物も併用する。 ○授業は1コマにつき2～3の教材を使い、スピード感のある展開で集中力を持続させる。	
2年	○感染対策で、鍵盤ハーモニカの技能の習得が不十分である。	○練習曲や学習カードを準備し、技能習得のための時間を確保する。 ○めあてを明確にして、達成できるようにする。	
3年	○歌唱や器楽実技含め、音楽に対して意欲的な児童が多い。反面、過度の反応や自己中心的な言動が生じる場面がある。 ○表現することに長けている児童は多いが、指導を理解する力に関しては個人の差がある。	○指導が適切に児童に伝わるように、話の聞き方の指導を徹底する。 ○課題を繰り返し児童に確認し、教師と児童が対話的な学びを実施できるようにする。学習進度を再度考察し、全体的な理解度の向上を目指した授業計画を提案する。	
4年	○意欲、関心が高く、全体的に落ち着いた雰囲気ですすんで学習に取り組んでいるが、技能面での個人差が大きい。	○個に応じた指導を取り入れると同時に、教師が教えるだけでなく、グループでの活動の場面を設定し、他者対話し協働しながら楽しんで活動できるようにする。 ○児童の学習状況を見取り、歌唱や器楽等の技能指導をしていく。	
5年	○全体的に落ち着いた雰囲気ですすんで学習に取り組んでいるが、音楽から気付いたことと感じたことを関連付けて捉えることに課題がある。また、技能面に課題がある児童が多い。	○児童が音楽から知覚したことと感受したことを関連付けて考えることができるように板書や学習カードの工夫をする。また、知覚・感受のさせ方や教師による発問や助言、価値付けの工夫をする。 ○技能面では、児童の学習状況を見取り、必要な技能指導をしていく。	
6年	○器楽に関心が高く、友達と協力し、すすんで活動に取り組んでいる。技能面での個人差が大きい。	○児童がより意欲をもち主体的に活動できるような題材の工夫や選曲を行う。 ○技能面では児童の学習状況を見取り、歌唱や器楽等の演奏に必要な技能指導をしていく。	

